

“絆”きずな

南から始まる訪問リハビリテーションの魅力 in鹿児島県

現在、在院日数が短くなり、病院に勤務していると、その人が今どのような生活を送っているのか、実際の生活を見る機会はほとんどないと思います。障がいがあっても、その人らしく生活するところへの係わりが希薄になっているような気がします。

親しき中にも礼儀あり、在宅では、反応がダイレクトに跳ね返ってきます。機能的に変化がなくても、その人らしく生きていくためにはどうすればいいのか、本人や関係する全ての人と連携を取って考え実行する、私にとっての訪問リハビリテーションの魅力は、生活に係わりがもてるところです。『押し付けにならないように』を心掛けています。

鹿児島県訪問リハ・地域リーダー 理学療法士 弥栄 博文
医療法人 七徳会 ザ王病院 リハビリテーション科 科長

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介⑱ 富山県編

富山県では、三士会合同で富山県訪問リハ研究会を立ち上げ6年が経ちました。当研究会は主に、訪問リハ研修会開催および訪問リハの普及・啓発活動を地道に行っています。訪問リハ研修会は、年2回各1日会期で開催しており、毎回60名程度の参加があります。1日開催とすることで、参加者からは研修会に参加しやすいとの声も多く、今後も継続していく予定です。また、普及・啓発活動としては、当研究会で作成した「訪問リハ導入の手引き」を県内会員所属施設ならびに居宅介護支援事業所、地域包括支援センターに配布し、訪問リハ導入ならびに目標の共有に使用していただいています。今後も地道な活動を続けていきたいと思っています。

富山県訪問リハ・地域リーダー 言語聴覚士 亀谷 浩史
富山県訪問リハビリテーション研究会

気仙沼訪問リハビリステーションの奮闘！

平成26年10月に気仙沼訪問リハビリステーションが開所して1年半になろうとしています。地域の医師やケアマネジャーなど、多職種の方々に育てていただき、利用していただく事業所に成長して参りました。現在OT、PT合わせて4人のスタッフが、大島という離島を含めて気仙沼・本吉地域の訪問に伺っています。地域に回復期病棟がありませんので、病期も疾患も幅広く依頼をいただいています。呼吸器を装着し、大好きなコーヒーを飲みに出掛けられるようになることを目標に頑張っている、緊急入院を繰り返していた慢性呼吸不全の方や、大島からフェリーを利用して気仙沼に通院できるようになった脳梗塞の方など、丁寧なリスク管理と効果的な心身機能へのアプローチから生活行為の向上につながっている方がたくさんいらっしゃいます。

人員不足で依頼を一時保留している状態です。みなさん、ぜひ一緒に働きませんか？

一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団 大貫 操
気仙沼訪問リハビリステーション 事業所担当理事

＜訪問リハ振興財団よりお知らせ＞

★訪問リハビリテーション・フォーラム2016 開催

日時:平成28年5月22日(日)
場所:ヤクルトホール(東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル)
参加費:無料
詳しくは訪問リハビリテーション振興財団ホームページをご覧ください。

★訪問リハ・地域リーダー会議 開催

日時:平成28年5月20日・21日(13:00~)
場所:タイム24ビル(東京都江東区青海2-4-32)
対象:各都道府県において、各士会と密に連携を図りながら研修会等の活動を主導していく地域リーダーとして、理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会からの推薦を受けた方